

学術7面/JAEDU

全国のFD担当者で組織する日本高等教育開発協会(会長・川島啓二国立教育政策研究所高等教育研究部総括研究官)は、去る八月三十日、東京の帝京大学において、第二回高等教育開発フォーラムを開催した。

まず、沖永学長の挨拶があり、同大学のFD活動等が紹介された。その後、川島会長より、同協会の紹介、渉外担当理事の佐藤愛媛大学准教授より、去る七月にバンコクで開催された、国際高等教育開発連盟の大会報告のほか、海外の高等教育開発事情が紹介された。

その後、ワークショップ・セッションIとして、同協会の会員が担当し、認証評価、ティーチング・ポートフォリオなど四つのテーマに分かれてのレクチャーやワークショップが行われた。

次に、ティータイム交流会として、IRや授業デザイン、深い学習などのテーマに分かれて交流が行われたのち、会員より「FDとしての入学前教育の取組」等をテーマ

に研究報告が行われた。

一日目の最後には懇親会が開かれ、参加者達は大学改革について熱心に語り合った。

翌二日目午前には、ワークショップ・セッションIIとして、新しいワークショップの開発などが、午後には、プレゼンテーションセッションとして、社会人学生、学習環境などをテーマに会員により発表があり、閉会した。来年は京都産業大学で開催される。

同協会の会員は、一人一人がシラバスの書き方や授業改善に関するワークショップ等の講師を務めることができる。